

平成 2 7 年 第 2 回
仙 北 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

平 成 2 7 年 2 月 1 2 日

仙 北 市 教 育 委 員 会

平成27年第2回仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成27年2月12日(木) 午後2時

2 場 所 角館庁舎 西側庁舎2階 第4会議室

3 出席委員

委員長	安部 哲男
委員長職務代理者	河原田 修
委員	坂本 佐穂
委員	佐久間健一
教育長	熊谷 徹

4 出席した事務局職員

教育部長	羽川 茂幸
教育次長兼教育指導課長	田口桂一郎
教育次長兼教育総務課長	畠山 靖
生涯学習課長	成田 祐子
スポーツ振興課長	田口 幸栄
文化財課長	小松 誠一
教育指導課参事	齋藤 栄子
教育指導課参事兼角館学校給食センター所長	千葉 幸仁
教育指導課参事兼西木学校給食センター所長	芳賀 京子
生涯学習課参事兼田沢湖公民館長	佐々木幸美
生涯学習課参事兼角館公民館長	草薙 正勝
生涯学習課参事兼西木公民館長	武藤真利子
生涯学習課参事兼学習資料館・イベント交流館長	鈴木 孝昭
生涯学習課参事兼市民会館・田沢湖図書館長	藤原 眞栄
文化財課参事	中村 和彦
文化財課参事兼角館町平福記念美術館長	長松谷 光
国民文化祭推進室長	草薙 悟

5 市内小学校1年生のフッ化物洗口の事業実施について

6 議事

(1) 議案審議

議案第 7号 平成27年度仙北市教育行政方針について

議案第 8号 仙北市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定に伴う意見について

(2) 報告事項

- 報告第 6号 仙北市教育行政報告について
- 報告第 7号 戸沢サミットin仙北実行委員会補助金交付要綱制定について
- 報告第 8号 仙北市総合文化祭補助金交付要綱制定について
- 報告第 9号 仙北市短歌大会補助金交付要綱制定について
- 報告第10号 仙北市子ども読書活動推進計画策定について
- 報告第11号 区域外就学の承認について
- 報告第12号 仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定について

7 審議の経過及び結果

(安部委員長)

ただ今から平成27年第2回仙北市教育委員会2月定例会を開催いたします。

次第により会議を進めさせていただきます。書記には高倉参事、栗原主査を任命いたします。議事録署名は、佐久間委員、熊谷教育長をお願いいたします。前回会議録の承認については、会議終了後をお願いいたします。

次に次第4、委員長挨拶ですけれども、2月7、8日、全県のモーグルの大会がたざわ湖スキー場で行われましてスポーツ振興課の皆さんを中心に、大変ご難儀をおかけしました。新聞等でも色々報道されておりましたけれども、スキー場の活性化にもなるし、市民にとってもスキー場がリニューアルした形で、たくさんの方々に利用していただけるというメリットも出てきているのではないかと考えています。昨日は、市民スキー大会でいずれも、都合によって参加できなく、皆さんの頑張りを見せてもらうことができなくて大変申し訳ありませんでした。先ほど市の総合美術展を見せていただきに行って参りました。仙北市民の文化芸術活動を積極的に生涯学習課の皆さんが中心になって、支援をしてくださっているということは市にとっても文化活動に対して、教育委員会が積極的に支援をしているということをおわかっていただける機会であると思います。出品をしている皆さんが、出品するまでの活動を通して自分自身の芸術活動を理解してもらう機会を持ったということも、大変大事なことであると思います。これを機会に美術館で行われる様々なイベントに、行ってみようかなという気持ちになってもらえば、さらに良い影響になるのではないかと思います。最後に、今2月半ばで、インフルエンザの最盛期で小中学校でも、私の家の前を通る子どもに早く帰って来たなど聞くと、インフルエンザのために部活動は休みですとっておりました。いずれ予防等についても、教育指導課より手立てがいつていると思いますが、機会をみて教育長から、校長会等で伝えていただきたいと思います。

順序が逆になりましたが、教育委員全員が出席ですので会議は成立しております。

次に5の教育長の事務報告についてお願いします。

(熊谷教育長)

それでは、教育委員会事務報告をさせていただきます。

2月4日、総合美術展オープニングセレモニー、6日、第40回秋田県芸術選奨表彰式でございました。7日、フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会、同日、白岩城址燈火祭、8日、学校給食地場産食材利用拡大推進会議で、10日、上桧木内の紙風船上げに

参加して参りました。11日、おやま囃子芸能発表会で、今回は土崎の港囃子、花輪囃子の関係者も参加いたしまして大変盛大でございました。

行事予定でございますが、13日、総務文教常任委員会協議会。同日、火振りかまくらオープニングがあります。14日、防災気象講演会で、NHKの気象予報士の井田寛子さんがお見えになりまして、角館小学校の子ども達を中心に防災気象関係の講演をやってくださいます。火振りかまくらも子ども達と一緒に見ます。16日、三浦雄一郎、猪谷千春講演会があります。24日から市議会が始まります。28日から3月1日、いよいよモーグルワールドカップ秋田たざわ湖大会が始まります。

今後の学校行事であります。3月1日、角館高等学校卒業式でございます。それから仙北市内小中学校の卒業式に、委員の皆様にも出席いただきますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

(安部委員長)

教育長の事務報告が終わりましたが、何かご質問ありませんか。

(坂本委員)

報告についての質問ではありません。ちょっと確認をしたいのです。「おやま囃子」の標記の仕方ですが、いろんな標記の仕方があります。市、教育委員会としては、統一を図るといふのはありますでしょうか。

(小松文化財課長)

前回の「おやま囃子」も標記の仕方はこの通りです。行事自体統一しているかといわれれば、統一していないのが現状です。統一するという事は、検討していませんので確認していきたいと思っております。

(熊谷教育長)

角館の祭り山行事、「おやま囃子」は「飾り山囃子」と書く時もあります。申請した時の名前等の流れがあると思っております。今現在ではこの形を使っています。

(坂本委員)

団体名はそれぞれですよ。

(熊谷教育長)

保存会でやっていますが、文化財課が実質はやっています。団体名は「おやま囃子保存会」でやっています。そこではこの標記を使っています。

(安部委員長)

今後もこの標記は、変わらないということですか。

(小松文化財課長)

これから、協議していきたいと思っております。

(安部委員長)

これから、色々な関係団体と協議をして私達に報告する状態を作ってください。

生涯学習課に、先ほどの総合美術展について質問をいたします。159人と1団体というのは、昨年より出展数が多いのですか。

(成田生涯学習課長)

昨年より多いです。手芸の分野が、大幅に増えまして220点で昨年より50点ない

し60点増えております。

(安部委員長)

私も見せてもらいましたが、バラエティにとんでいて良いなと思いました。

(熊谷教育長)

今回初めて短歌が出ました。去年の国文祭の短歌大会の影響でないかと思っております。

(安部委員長)

ほかにご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

では、教育長の事務報告を承認することにいたします。

それでは、議事に入る前に「市内小学校1年生のフッ化物洗口の事業実施について」ということで、保健課の方々が説明にきておりますので説明をお願いいたします。

(米澤福祉保健部次長兼保健課長)

保健課の米澤と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。本日は、フッ化物洗口に対する説明の機会を与えていただきましてありがとうございます。始めに仙北市の現状について説明をいたします。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ただ今の説明についてのみご質問を受け付けたいと思います。これを実施するかどうかということについては、教育委員会の議題として取り上げて検討させていただきたいと思います。

(佐久間委員)

去年も保健課の方がお見えになって説明を受けました。あの時決めた記憶がありますが、どうでしたっけ。

(安部委員長)

あれは年長児に対する、やる、やらないを決めたものです。

(佐久間委員)

何と決めましたっけ。

(安部委員長)

この席ですぐ決めましたが、実は私が今考えているのは反対、賛成とかではなくて、この説明は良くわかります。先週もこの資料は渡されていますので、皆さんも検討されてきたと思います。実際やるとなれば小中学校全部にやりたいということで説明に来たのですよね。

(米澤福祉保健部次長兼保健課長)

いえ、小学校1年生を対象にです。

(安部委員長)

1年生だけですか。

(佐久間委員)

この資料を見れば、仙北市だけやっていないということですか。

(米澤福祉保健部次長兼保健課長)

仙北市だけではありません。県南地区では仙北市という形になります。

(佐久間委員)

理由はどうしてですか。

(米澤福祉保健部次長兼課長)

その準備段階まで届かなかったということだと思います。

(安部委員長)

1年生の分だけ予算化されているのですか。

(米澤福祉保健部次長兼保健課長)

そうです。

(安部委員長)

そうすれば、来年は小学校2年生までと毎年学年を増やしていく計画ですか。

(米澤福祉保健部次長兼保健課長)

計画については、ただ今素案は持っていません。まず1年生を実施して、それから以降を考えたいと思います。

(安部委員長)

今1年生だけやって虫歯の予防になると思いますが、それ以上の子ども達は予算化しないといけないということですよ。

(米澤福祉保健部次長兼保健課長)

まず今年度は1年生の予算化をしております。今年度1年がやった結果を踏まえまして、あくまでも保護者の希望によって実施する見込みとしておりますので、ご希望が多い場合、あるいは教育委員の皆様のご指摘があるようであれば小学校全般という発展的に考えるのは不可能ではないと思います。ほかの市町村をみますと、小中学校、抱き合わせでやっている所が多いようですので、その辺も発展的に考えてご指導いただければそのようなことで進めたいと思っております。ただ、今年度は、1年生だけ予算化していますので、実施をよろしくお願いいたします。

(佐久間委員)

仙北市は、どうしてこれできなかったのですか。どこが障害でできなかったのですか。どこでストップがかかっていたのですか。

(熊谷教育長)

色々な意見がございまして、佐久間委員が前向きに考えていたことは私もわかっております。

(安部委員長)

折角、来ていただいたのに申し訳ありません。進まない理由の1つは、今は解決されたと思うけれども、これは本当に効果があるかとか子どもに害はないかの論議があって保護者の理解を得ることができなかった。現状を見ると、私達もこうしてはられないと思っております。

(米澤福祉保健部次長兼保健課長)

私が聞いている範囲では、フッ化物というのは溶解前につきまして毒性のある物でございます。溶解した時点で毒性は無くなり、安全性は確認されております。その毒性に対して保

管する場所、誰がどのような調合をするのかという形で議論された経緯は伺っております。ですからフッ化物溶液その物自体に毒性があるという誤解があったようです。現在におきましては、溶解した物に関しましては安全性が確認されておりますのでそのような心配はないものと思っております。先ほど私が申しあげましたが、要望により実施して参りたいと思っております。あくまでも安全性を了解した上で、フッ化物洗口を実施したいと思っております。

(安部委員長)

米澤さんが説明したようにその辺の誤解がどうか、これは有害なのではないかという学校現場では、論議が分かれたのです。今お話を伺えばそういうことは無いとわかった訳ですが、そういうところで時間が取られたのではないかなと思います。

(佐久間委員)

それだけお話を伺えば、良くわかりました。

(河原田委員)

昨年もここでお話をしたように、フッ素洗口をしたから虫歯にならなくなるということはありません。基本的には食生活です。生活習慣病ということが、バックグラウンドにあって、甘い物の摂取料が多いといくらフッ素洗口をしても虫歯になります。フッ素洗口をすることも大事ですが、それを使って食生活についての一助とする指導の一部としていただかないと虫歯は減らないと思います。

(安部委員長)

当面は、学校教育担当の方と保健課の皆さんで話合って段階を踏んでいってもらいたいと思います。行くことが、4月になるか5月になるかわかりませんが反対ではありません。皆さんの話を聞くとやってもらった方が良くないと思います。いつから実施するかについては、お互いのコンセンサスを持てるような時間を取って、お互い納得し合ってやらないと先生方も、子ども達も事務的になってしまうと思いますので、少し時間を貸してもらいたいと思います。

(田口次長兼教育指導課長)

保健課の説明にもありましたが、最終的に実施する、しないを決めるのは保護者でございまして同意を得なければ実施できません。教育委員会や仙北市としてもこのようなことを奨励したいという形で学校にも説明して納得いただいて、最終的には保護者の同意書がなければ実施できないという形で進めて参ります。その辺を慎重に進めて参りたいと考えております。

(安部委員長)

教育委員会の虫歯予防の奨励事項ということで、了承していただけますか。

—了承します—

(安部委員長)

米澤さん、ご理解をいただけたでしょうか。

(米澤福祉保健部次長兼保健課長)

委員長の方からご指摘ありました通り、急に4月1日からやるということは、保健課でも思っておりません。先ほどもお話ししましたように、学校関係、教育委員会、歯科医師会等様

々な方々にご賛同を得た上で実施したいと思っております。準備はすぐ入りますけれども、4月1日からとは考えておりません。余裕を持った形で、5月頃を実際には想定しております。

(安部委員長)

田口次長からもお話が出ましたが、保護者の了解を得なければできないということでしたので、それについて保健課からも保護者の理解が得られるような方策を取っていただきたいと思います。

それでは、この件については終わりたいと思います。

—保健課の職員退席—

(安部委員長)

それでは、次第6の議事の議案審議に入ります。議案第7号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(羽川部長)

議案第7号、平成27年2月24日、第1回仙北市議会に提出します教育行政方針(案)について説明させていただきます。

(羽川部長が、各課の教育行政方針(案)に基づき説明する。)

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

私から質問をしたいと思います。生涯学習課のところですが「仙北市子ども読書活動推進計画」というのが策定されて、5カ年計画で実施されるということになっております。5カ年計画の最初の年でもありますし、生涯学習課としては大きな内容でもある訳です。できれば、最後のところに平成27年度から新たに子ども読書活動推進について頑張るのだということを入れた方が、私は良いのではないかと思います。

(成田生涯学習課長)

その通りだと思いますので、改めて付け加えたいと思います。

(安部委員長)

ほかにご質問はございませんか。

(佐久間委員)

はじめにのところに、統合のことについて初めて触れると思います。「先月、文部科学省から公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する指針が示されました。本市においても複式学級となる学校も発生しておりますが、小規模であっても学校は地域の核であり、創意と工夫を凝らしながら学校運営に努めて参ります。」とあります。この文章は、市民の皆さん、議会の皆さんが注目するところだと思います。この前、魁新報の1月20日に、自治体は統合検討をということで、仙北市では小学校2校が対象になっていると書かれていました。この2校は最初に質問ですが、どこでしょうか。

(熊谷教育長)

白岩と中川小学校です。

(佐久間委員)

仙北市は2校、大仙市は5校、横手市は4校の小学校が対象になっていました。地域の人

達がこの文章を読んでどうかということですが、これはいよいよ統合だなと感じるのではないかと思います。教育総合会議は、新しく市長が入って始まることなので、そこまで触れるのはその後も良いのではと思いますが、いかがでしょうか。

(安部委員長)

私の意見は、平成27年度と名打っているのですが、総合教育会議については言及しても良いのではないのでしょうか。具体的に学校名は書いていないので。実は、この指針について、文部省のホームページからダウンロードしたのを次長からいただいて、読ませてもらっています。その指針には、必ず統合しなければいけないということではないのです。

(佐久間委員)

それはわかっています。順序としてそれは、私達に見せられてもいないのにそれについて方針に載せて良いもののでしょうか。

(安部委員長)

それについては、先月話が出て正式にこういうものが届いた時に、委員の皆さんには配布しますよということをおっしゃっていました。

(佐久間委員)

皆さんがそれを見て、意見を持ち合っただけでこれが議会に出ていくべきではないのでしょうか。

(安部委員長)

総合教育会議につきましては、教育委員会の改正として出ています。それは別に指針と関係なく、こういう体制になっていますよと伝えても問題はないと思いますが。

(河原田委員)

私も出しても良いのかなと思います。佐久間委員が言われた「自治体は統合を検討」の新聞の切り抜きがあるのですけれども、実はこの中に統合の指針と書いてあります。存続への対策も明記されています。結局小規模校であっても通えないことが起こった場合は、統合はしないということも書かれてあります。ここに書いてあるから統合するということではないと思います。

(安部委員長)

来年度は、議論の対象になる年になることは間違いがないと思います。

(佐久間委員)

やはり、今後の指針が示されましたくらいで、止めておくべきではないのでしょうか。

(羽川部長)

平成26年度の一般質問で佐藤大成議員から、その件についての質問がありました。その中でも、保護者の意見、地域の意見を聞きながらやるという話は述べております。統廃合について検討しているということは、そろそろ触れなければいけないのではと思います。

(熊谷教育長)

私のところにも、この新聞を見て電話をいただきました。

(安部委員長)

この文章から言えば、「統廃合については慎重に検討して参ります。」とありこれに尽きると思います。

(熊谷教育長)

もう一度検討してみます。

(羽川部長)

「はじめに」の前段と後段を、もう一度検討してみます。

(安部委員長)

ほかにご質問はございませんか。

(河原田委員)

先ほど委員長がお話なさっていた、「読書推進計画」に関連して質問です。学習資料・イベント館の学習支援委員は何人いらっしゃいますか。

(鈴木学習資料館・イベント交流館長)

パートの職員2人が、市内12校を定期的に巡回しております。

(安部委員長)

ほかにご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

それでは、議案第7号について採決いたします。本案を可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

議案第7号は一部修正をするということで、提案のとおり可決することに決定いたしました。

次に、議案第8号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(畠山次長兼教育総務課長)

議案第8号仙北市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定に伴う意見について説明をいたします。

2月3日付けで市長から、教育委員会に条例制定に伴う意見を聞きたいということできております。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました、どうも条例に関してはもっとも解りにくくて、理解が遠いところです。要するに機構改革によって、このように部署が移管するということを認めるかということによろしいですか。

(畠山次長兼教育総務課長)

はい、そうしたいのだけれど、いかがでしょうかということです。

(安部委員長)

1つだけ質問をします。「文化に関すること」(文化財の保護に関することを除く。)とありますが、文化財の保護に関すること以外の文化、スポーツ文化等を含めてということですか。

(畠山次長兼教育総務課長)

それで、今回は「市長が管理し執行する事務は、スポーツに関することとする。」ということなので、文化は今回入っていません。

(佐久間委員)

県の機構もそうになっていますか。

(畠山次長兼教育総務課長)

そうです、県もこのようになっています。

(佐久間委員)

この前質問しましたが、小さいスポーツあるいは体育協会、体育指導員とかそのような人達まで向こうに行くのですか。

(畠山次長兼教育総務課長)

はいそうです。

(佐久間委員)

学校スポーツは残るけれど、それ以外は全て向こうですね。今まで大きい大会をやりましたが全て向こうに行くのですね。もちろん職員の方々もそちについていくのですね。

(畠山次長兼教育総務課長)

教育委員会の部署から、スポーツ振興課が無くなるということです。

(羽川部長)

佐久間委員が言われた、スポーツ推進委員とか関係部分のある程度は生涯学習課の方にもともとあった経緯がありますので、そういうところに残るものもあると思います。

(田口次長兼教育指導課長)

学校部活動は、中体連がやっております。

(佐久間委員)

中体組織はスポーツだけでも、学校だから関係ないですね。

(安部委員長)

市長に、意見として色々伝えてもらえればと思います。

ほかにご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

それでは、議案第8号について採決いたします。本案を可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

議案第8号は提案のとおり可決することに決定いたしました。

次に報告事項に入ります。報告第6号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(羽川部長)

報告第6号でございます。これも平成27年第1回仙北市議会が開催されますので、12月定例会後からこれまでの主な事項について、ご報告をさせていただきます。

(羽川部長が、各課の教育行政報告について、資料に基づき説明する。)

◇全県中学校スキー大会について

- ◇インフルエンザによる出席停止の状況について
- ◇花のある街づくりコンクールについて
- ◇仙北市総合美術展について
- ◇新春書き初め大会について
- ◇仙北市読書感想文コンクールについて
- ◇2015 フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会について
- ◇三浦雄一郎・猪谷千春講演会について
- ◇2015 フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会について
- ◇小田野家主屋修理工事について
- ◇仙北市指定文化財について
- ◇秋田県芸術選奨について
- ◇児童生徒県南美術展について
- ◇館蔵品展2について

以上が2月24日、開催予定の第1回仙北市議会の教育報告（案）でございます。今回の教育委員会以降、議会までに行われる事務事業については、その結果を踏まえまして報告させていただきます。

(安部委員長)

報告が終わりました。ご質問はございませんか。

(佐久間委員)

質問ではありません。モーグルの時スポーツ振興課が大変頑張っていました、あの時けが人が出てましたがどうなりましたか。

(羽川部長)

タンカーで運ばれました。

(佐久間委員)

ドクターヘリが飛んできましたが、どうしてですか。

(田口スポーツ振興課長)

プレ大会の時に、選手の一人が最初のジャンプした後、着地してその後転倒しました。看護師の方がお話を聞いたりしているのを見ると意識もはっきりして脈拍、血圧も安定していましたが付き添いの方に、念のためにお医者さんに診てもらいましょうかという話をしたところ、診せてくださいということでした。広域の方に救急搬送のお願いをしましたがドクターヘリを向かわせるので、着陸場所を確保してくださいということでした。結局大曲厚生医療センターの方にヘリが飛んで行きまして、診てもらいましたが入院することなく帰られました。

(佐久間委員)

ヘリは何処に止まりましたか。

(田口スポーツ振興課長)

色々探しまして、もしかにしました。登山道の脇に着陸でしたので。

(佐久間委員)

スポーツ振興課の人達は、大変活躍しましたね。

(安部委員長)

私から、県南美術展では2,430人、かなり多くの人が観覧に来てくれて良かったと思っております。総合美術展では、今現在開催中ですがけれども観覧にくる人の様子を簡単に多いのか、少ないのか教えてください。

(長松谷平福記念美術館長)

昨日までで、300人ご来館していただきました。去年と比べると多くなっています。

(安部委員長)

ほかにご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第6号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第6号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

ここで10分ほど休憩いたします。

—暫時休憩—

(安部委員長)

会議を再開いたします。

報告第7号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(成田生涯学習課長)

報告第7号戸沢サミットin仙北実行委員会補助金交付要綱制定について説明をいたします。来年度8月17日に第3回戸沢サミットが開催されます。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第7号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第7号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

続いて報告第8号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(成田生涯学習課長)

報告第8号仙北市総合文化祭補助金交付要綱制定について説明をいたします。来年度総合文化祭の10周年記念事業として開催されます。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第8号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第8号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

続いて報告第9号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(成田生涯学習課長)

報告第9号仙北市短歌大会補助金交付要綱制定について説明をいたします。来年度短歌大会を開催します。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第9号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第9号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

続いて報告第10号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(成田生涯学習課長)

報告第10号仙北市子ども読書活動推進計画策定について説明をいたします。前回、子ども読書活動推進計画の素案というものを委員の皆さんにお配りをして、意見をもらったところがございます。推進計画の作成にあたっては、秋田県が27年度まで全市町村が策定することを目標に掲げて進めているところです。26年の春で18市町村が策定済みとなっております。現在策定中のところが6市町村で実施の予定が無いところが1市ありましたが、仙北市では今年度策定するというので進めておりました。25年2月に、アンケート調査を実施しております。11月には、推進計画策定委員会を設置し話し合いを進めてきておりました。作業部会において、現状、課題を洗い出し作成したものを、26年の12月24日、策定委員会で承諾を得たところです。さらに前回の教育委員会で、委員の皆様にご意見を聞くために素案を提出させていただきました。皆様の意見を反映させてこの度計画書を提出したところです。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

私から1つだけ質問をいたします。8ページの下の方で検討、検討しますとなっておりますが、5年計画でずっと検討するというのも変なので、具体的な文言にしていきたいと思えます。

(成田生涯学習課長)

先ほど検討して参りましたが、ここの表題のところを今後の検討を削除して、図書館から

離れた地域への図書貸し出しということで、もうするのだという標記にしたいと思います。

(安部委員長)

ほかにご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第10号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第10号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

続いて報告第11号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(田口次長兼教育指導課長)

報告第11号区域外就学の承認についてご説明をいたします。平成27年1月21日、26日、28日付けで申請のあった区域外就学5件について、仙北市教育委員会として承認することとしたので報告いたします。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第11号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第11号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

続いて報告第12号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(田口次長兼教育指導課長)

報告第12号仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定についてご説明をいたします。これについては、平成25年8月に生活保護基準の見直しによって、その影響が最小限になるように就学援助費について、配慮するよう国からの要請により、以前の保護基準をそのまま活用させていただいて不利益が無いような配慮をして参りました。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第12号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第12号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

引き続きその他に入ります。いじめ、不登校について報告をお願いいたします。

(田口次長兼教育指導課長)

1月のいじめ、不登校の状況について、ご報告いたします。

はじめに、いじめについてですが、1月はいじめの発生はありませんでした。久しぶりに、0の報告ができました。今後とも、子供たちの「居場所作り」「絆づくり」に努め、いじめが起きにくい学校風土・学級風土の構築に取り組んで参ります。

次に、1月の不登校児童生徒は、小学生2人、中学生12人、計14人です。今後とも、学校や家庭、関係機関と連携しながら、粘り強く対応して参ります。以上、報告いたします。

(安部委員長)

今のいじめ、不登校に対してのご質問、意見はございませんか。

不登校14人、全部ケースが違うのでその子に合った対応をするしかないと思いますので、研究所もそういう暖かい目でみてやっていただきたいと思います。

次は、会議録のホームページへの掲載内容についてお願いします。

(畠山次長兼教育総務課長)

資料をご覧ください。今回は12月定例会会議録のホームページ掲載案でございます。

—資料説明—

2月20日頃までに資料をご覧くださいまして、お気づきの点は、教育総務課までお知らせ下さい。

(安部委員長)

ほかにありませんか。

(畠山次長兼教育総務課長)

本来であれば来月の定例会の日程になりますが、今月の26日、臨時教育委員会をお願いしたいと思います。2月26日(木)午前10時から応接室で、3月の定例会は、3月26日(木)午後2時からこの場所をお願いいたします。

(田口次長兼教育指導課長)

先ほど話題になりました、公立小中学校の適正規模、適正配置等に関する手引についてということで、2月4日付けで、県教委から文科省の手引が送付されてきましたので、資料として印刷して委員の皆様へ、お渡ししております。なおホームページでは、「指針」という名前で載ってございましたけれども、今回送付されてきた表名は手引に変わっております。行政方針の現行の方も、指針という言葉ではなくて、手引という言葉に置き換えたいと思いますのでよろしく願いいたします。

(安部委員長)

ほかに、ご質問はございませんか。

長い間ありがとうございました。それではこれで定例会を閉会いたします。

7 閉会宣言 平成27年2月12日 午後4時20分

